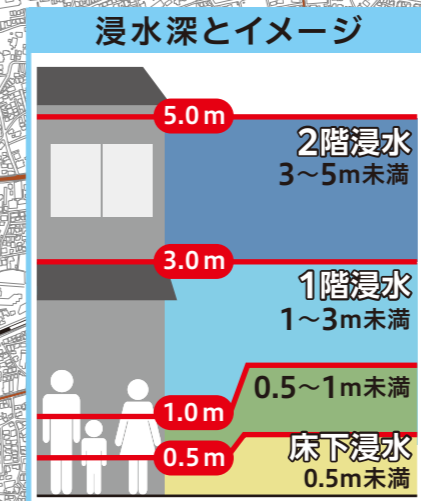


茅ヶ崎市 高潮ハザードマップ

茅ヶ崎市高潮ハザードマップは、観測史上最大規模の台風が襲来して高潮を引き起こし、相模灘沿岸に最悪の被害をもたらす場合を想定して、浸水が想定される区域と家屋倒壊等氾濫想定区域（氾濫流、越波）を示しています。加えて、指定された避難所や危険な箇所など、市民のみなさんが速やかに避難するために必要となる大切な情報が記載されています。高潮浸水想定区域は、神奈川県が令和3年8月に修正公表した高潮浸水想定区域図に基づき表示しています。

昭和34年9月26日夕刻、紀伊半島先端に上陸した台風15号（伊勢湾台風）は、全壊家屋36,135棟、死者・行方不明者数5,098名という大きな被害をもたらしました。この台風による犠牲者の80%以上は高潮の発生が原因とされています。

台風の想定条件			※中心気圧910hPaの台風が相模灘周辺を通過する確率は1,000年～5,000年に1回と想定されています。
中心気圧 910hPa (室戸台風)	暴風半径 75km (伊勢湾台風)	移動速度 73km/h (伊勢湾台風)	



- 避難所
- 高校
- 市役所・出張所
- 危険箇所(地下道)
- 警察署・交番・駐在所
- 水位観測所
- 消防署(本署・分署・出張所)

高潮の遡上等が明らかな区間



- 台風の接近・上陸時には、高潮のみならず、降雨も想定されることから、一級及び二級河川においては、想定しうる最大規模の高潮と同時に、河川整備の目標とする降雨による洪水が発生することも想定されています。
- 本ハザードマップに記載している浸水想定区域等は区域等の境界を精緻に表示するものではなく、概略の位置を示した参考図であることに留意してください。
- この地図・成果は測量法の公共測量に関する規定に基づき藤沢市長及び平塚市長の承認を得て藤沢市及び平塚市所管の測量成果を使用して調製したものです。

